

生活と社会 (Living and Society)

暮らしと地図 (Maps and Daily Life)

田中耕市・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 月 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『地理学』)

【授業の目的】 わたしたちは普段の生活のなかで、地図に触れる機会が多い。多くの人はそれを何気なく見過ごしているが、それに注視して理解することによって新たな世界観を獲得することもできる。本授業は、わたしたちの暮らしに身近な地図をキーワードに、日々の暮らしの疑問を紐解いていく。

【授業の概要】 担当者から一方的に話すのではなく、受講者にも多くの発言を求める授業である。積極的に発言して、授業に参加する姿勢が重要である。また、図を描いたりなどの実習作業や、グループディスカッションをしてもらうこともある。

【キーワード】 地理学、地図、暮らし

【到達目標】 地図を活用しつつ地域の諸問題を発見して、それに対する自分の意見を述べられるようになる。

【授業の計画】

1. イントロダクション
2. 地図を読む 1
3. 地図を読む 2
4. なぜ地図化するのか?
5. デジタル地図と地理情報システム (GIS)
6. 頭の中の地図
7. 場所のイメージ
8. 第 1 回テスト
9. 食料商品名と地名
10. 買物客はどこから来る?
11. コンビニエンスストアを支える物流システム
12. 防災・ハザードマップとは?
13. アイスランド地誌
14. シンガポール地誌
15. 第 2 回テスト
16. テスト解説

【教科書】 高等地図帳 (高校で利用した地図帳でよい)

【成績評価の方法】 授業での発言を重視する。他に、授業への取組、小レポート、レ

ポート、期末試験で評価する。

【再試験の有無】 なし

【受講者へのメッセージ】 授業では毎回、小レポートを実施する。そのほかに、2 回のテストを実施する予定。単位取得のためには、テストの受験が義務である。授業中、受講生には積極的な発言を求めます。

【WEB 頁】 <http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/sis/index.htm>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220750>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 田中 .